

回覧

令和 2 年(2020年)度 第十回 定例役員会 2020年10月3日(土)

～2020年9月24日(木)作成～

< 館長報告 >

館長 土井 承夫 (どいよしお)

暑かった夏も終わりを告げ、秋が日一日と深まって参ります。皆様、突然ですが、館長の私は現在人生初めての入院生活に入っており、この報告も市内 K 病院の個室でパソコンにより作成しております。長年の高血圧の治療で心肥大が進み点滴を中心とする 2 週間の療養に入ったからです。幸い本日主治医の S 先生より経過良好につき、予定通り 9 月 30 日の退院許可を頂きました。3 食昼寝つきのハーレムの様な生活も少しなごり惜しいですが、また元気一杯、明るく前向きに前進して参ります。引き続きご指導下さい。

<令和 3 年度倉吉市コミュニティー助成金申請書は提出済みです>

全身全霊を以て、昨年提出した 50 ページに及ぶ申請書の内容を精査し、現状に即した一点の隙(すき)のない内容にアップデート(最新事情に合う様に一部修正する事)した申請書を作成しました。去る 9 月 11 日(金)に担当される倉吉市役所地域づくり支援課殿へ提出致しました。(提出期限:9 月 30 日)幸い入院前に処理出来たので良かったと存じます。

<公民館新築の今後の予定>

今後の福庭自治公民館新築スケジュールは次の様になります。

| |
|--|
| 9 月 11 日 に「コミュニティー助成金申請書」を提出した→令和 3 年(2021 年)3 月下旬に上記助成金受給決定通知 → 同年 5 月業者の指名入札 →6 月解体作業の着工→7 月新築工事の着工 → 令和 3 年(2021 年)11 月末 新公民館の完成 |
|--|

<福庭自治公民館新築特別寄附金(自主的な寄附)の集計状況>

住民の皆様からの上記の自主的な寄附金の集計状況をこの後もこの館長報告でお伝えしていきます。ご寄附は本年 2020 年 11 月 30 日まで受け付けます。受け付け窓口は館長の私、土井承夫です。(26-0770、携帯 080-4261-1979)お電話を下されば、ご持参いただかなくとも私が戴きに参ります。

*令和 2年(2020年)9月24日(木)現在の集計結果(総計)は次の通りです。

(1) 寄付頂いた世帯数： 141世帯 (全体の約34.1%)

(2) 寄附金の合計： 457万円

(3) 個々の寄付金額の概要：最高額：30万円(1名) 30万円(福庭青年団)
25万円(2名：1名は福庭、もう1名は福庭以外の方です) 10万円(13名)
5万円(10名)、3万円(20名)、2万円(13名)、1万円(80名) 他

(先月報告の内容と同じです)

～ 館長のちょっと一服コーナー ～

石田三成の「三献茶」(さんけんちゃ)・・・お茶の入れ方に気配りをした事が主君秀吉に気に入られ、一階の寺の小僧から家臣に取り立てられて最後は大名(だいみょう)にまで出世した三成の有名な「三献茶」についてのお話です。

初の入院生活で過去10年間にはなかった2週間一滴もお酒を飲まないという前代未聞の状況となりましたが、それを健康増進のチャンスと捉え少しお酒の代わりに「お茶」を嗜(たしな)もう等と柄(がら)でもない事を考えたのでありました。「京都・伊右衛門」とか「伊藤園・お～いお茶」とかのインスタントパックを持ち込んでチビチビやっています。

さて、豊臣秀吉が37歳の時、鷹狩りの帰りに喉(のど)が乾いたので、たまたま通りかかったお寺に立ち寄り、そこに居た15歳の小僧、石田三成(いしだみつなり)に命じてお茶を入れさせました。そこで、三成は何と三回にわたってお茶を献上したのです。まず「ぬるめでたくさん量」→2杯目は「少し熱めで中くらいの量」→3杯目は「熱くて少量」でした。秀吉も最初は喉が渴いているので「ゴクゴク大量に飲めるぬるいお茶」を頂き、渴きが癒えてくるに従ってだんだん熱いものを飲んだのです・・・お茶一つで、これだけの気配りが出来る三成に秀吉は大いに感心し側近の部下に取り立てる事にしました。これが有名な三成の「三献茶」の逸話です。(滋賀県長浜市のJR長浜駅前に銅像が立っています)

尚、このお茶の入れ方の効能は科学的にも証明されています。お茶は入れる温度によって抽出される成分が変化します。即ち、(1)ぬるいお茶(40℃以下)はテアニンが抽出され「リラックス」できます。(2)少し熱いお茶(50℃～60℃)はカテキンが出て「疲労回復」になります。(3)熱いお茶(80℃以上)はカフェインが出て「頭がスッキリ」します・・・さあ、退院してもこのお茶の効能を忘れない様今夜も熱いお茶を飲むことに致します。(完)